

はじめに(第2版)

本書である『看護管理セカンドブック』の初版第1刷が2016年の8月に発行されて以来、多くの方々に読んでいただいています。特に認定看護管理者カリキュラム基準セカンドレベルを受講して下さっている方々には副読本として、活用していただいていることを実感しています。

いわゆる「団塊の世代」が75歳を迎える2025年が目前に迫ってきており、国の医療施策は、急性期中心の医療から病床を機能分化することで、医療資源投入量の適性化を目指しています。また、病院完結型の医療から地域全体で治し、支える地域完結型の医療への転換（地域包括ケアシステムの構築）を着々と実現しています。

さらに、今後は、医師不足からくる他の専門職種への権限移譲に伴う問題や新型コロナウイルスによる新たな対策の必要性など、看護管理の役割はさらに重要になっています。セカンドレベル受講を修了した看護管理者の人数も増え続けてきています。

マネジメントは、師長だけでなく、副師長、主任やリーダー等の役職をもつ看護師にとっても必要です。看護師としての経験が長くなるほどにマネジメントはますます不可欠なものになっています。そして、一生使えるマネジメントの原理原則がこのセカンドブックのなかには詰め込まれています。

長期間の研修を受けることが難しい看護管理者、日々の業務のなかで何かを変えていきたい方、セカンドレベル研修受講者の予習や復習にこの本が役に立てば、とても嬉しく思います。

株式会社リクルートの創業者である江副浩正氏は「マネジメントの才能は、幸いにも音楽や絵画とは違って、生まれながらのものではない。経営の才は、後天的に習得するものである。それも99%意欲と努力の産物である。その証拠に、10代の優れた音楽家はいても、20代の優れた経営者はいない」と言っています。

本書を手取る方々は意欲のあるそして努力を惜しまない方々だと思います。看護マネジメントの基礎を本書で学び、習得しそれぞれの現場で使っていただくことこそが筆者の願いでもあります。

2023年12月
執筆者を代表して
太田加世

はじめに(初版)

前書の「看護管理ファーストブック」は認定看護管理者カリキュラム基準【ファーストレベル】の受講対象となる方々のために作成しました。本書「看護管理セカンドブック」はその前書の続編ともいえる位置づけにあり、認定看護管理者カリキュラム基準【セカンドレベル】（以下、「セカンドレベル」とします）の受講対象となる方々（主として看護管理者）のお役に立つ本として執筆・編集させていただきました。

スタッフナースと比べると看護管理者の人数は大幅に少なくなります。そのため、院内での継続的、系統的教育プログラムが準備されていないという病院も少なくないと推測されます。また、看護管理者どうして学び合う機会もかぎられていることでしょう。同じ部署で複数の看護管理者が働くという環境にないところでは、身近かにモデルとなる人がいないこともあるでしょう。看護管理者の仕事は「管理」ですが、その「管理」を経験として学ぶことはできても、系統立った知識や技術として「管理」を学ぶことがむずかしい状況にあるといえるのではないのでしょうか。

平成26・27年度厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業で作成された「中小規模病院の看護管理能力向上を支援するガイド」¹⁾によると、300床未満の中小規模病院の看護管理者が継続的に教育を受けるために行っている支援に対して「ない」という回答が半数以上を占めていました。また支援がない理由として、「余裕がない」「予算やしくみが合わない」「主体的に行うもの」などがあげられています。

本書では、セカンドレベルのカリキュラムに沿って看護管理者に最低限必要であると考えられるヘルスケアサービスの管理、看護組織の管理、人的な管理について知識と実践のポイントを説き、経営の基本となる医療経済についても触れています。さらに、看護管理過程を展開するための基礎となる組織分析とフレームワークについて学ぶこともできます。現場で実践している「管理」が知識と結びつくよう、実践的な内容を盛り込みました。本書で学んだ看護管理者はその知識を実践に活かしさらに成長できることでしょう。もちろん、すでにセカンドレベルを修了された方や現在受講している方にとっても参考となる構成となっています。

長期間の研修に参加することはむずかしい、看護管理者として必要な知識や考え方を身につけたい、セカンドレベルで学んだことを復習したい看護管理者にとって、本書がお役に立てれば幸いです。

2016年7月
執筆者を代表して
太田加世

1) 平成26・27年度厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業：中小規模病院の看護管理能力向上を支援するガイド。2016

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000113518.pdf> (平成28年7月14日閲覧)